

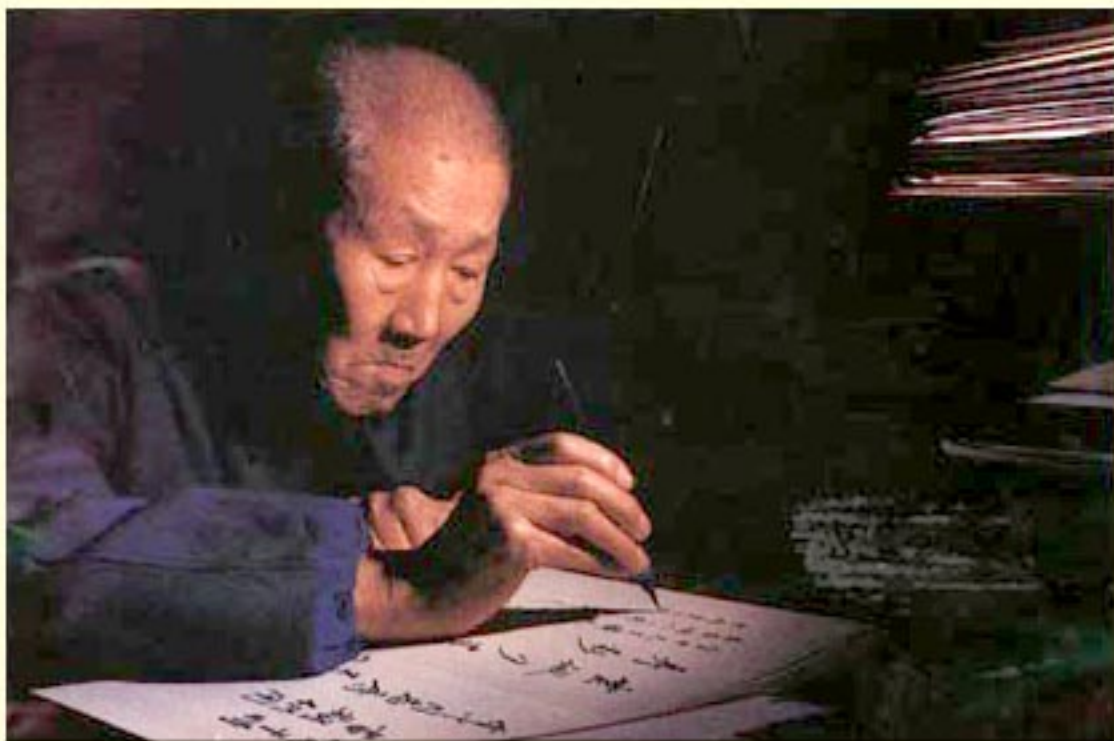
张中行
行
作
品
集



3

张中行作品集

3



目 录

禅 外 说 禅

第一章 弁言.....	(2)
1.1.1 缘起（一）.....	(2)
1.1.2 缘起（二）.....	(7)
1.2 禅内禅外.....	(8)
1.2.1 在外有自由.....	(9)
1.2.2 著史只能在外.....	(10)
1.2.3 易解的路.....	(10)
1.3 史料问题.....	(11)
1.4 也是揣籥.....	(13)
第二章 观照人生.....	(17)
2.1 宇宙和人生.....	(17)
2.2 人生问题.....	(19)
2.2.1 目的难证.....	(19)
2.2.2 义务和善念.....	(20)
2.2.3 快乐与众乐主义.....	(22)
2.2.4 欲的满足.....	(23)

2.2.5	粗略认识.....	(26)
2.3	人生之道.....	(26)
2.3.1	勤勉的路.....	(27)
2.3.2	倦怠的路.....	(29)
2.3.3	以逆为顺.....	(31)
2.3.4	道的同异.....	(33)
第三章	佛法通义.....	(35)
3.1	章题释义.....	(35)
3.2.1	内容过多.....	(36)
3.2.2	内容过专.....	(36)
3.2.3	内容过繁.....	(38)
3.3	教外说.....	(39)
3.4	佛法要点.....	(40)
3.4.1	生死事大.....	(41)
3.4.2	人生是苦.....	(42)
3.4.3	四圣谛.....	(43)
3.4.4	无常.....	(47)
3.4.5	五蕴皆空.....	(49)
3.4.6	万法唯识.....	(51)
3.4.7	十二因缘.....	(52)
3.4.8	戒定慧.....	(54)
3.4.9	解脱.....	(59)
3.4.10	慈悲喜舍.....	(60)
3.4.11	神通和福报.....	(62)
3.4.12	门外管窥.....	(63)

第四章 中土佛教	(65)
4.1 源流说略.....	(65)
4.2 前期佛教.....	(66)
4.2.1 汉.....	(67)
4.2.2 三国两晋.....	(69)
4.3 中期佛教.....	(70)
4.3.1 南北朝（一）.....	(70)
4.3.2 南北朝（二）.....	(72)
4.3.3 隋.....	(76)
4.3.4 唐.....	(78)
4.4 后期佛教.....	(80)
4.4.1 五代十国.....	(80)
4.4.2 宋（附说辽金）.....	(81)
4.4.3 元.....	(84)
4.4.4 明.....	(85)
4.4.5 清.....	(87)
4.5 宗派.....	(88)
4.5.1 三论宗.....	(90)
4.5.2 法相宗.....	(91)
4.5.3 律宗.....	(92)
4.5.4 净土家.....	(94)
4.5.5 密宗.....	(96)
4.5.6 天台宗.....	(97)
4.5.7 华严宗.....	(99)
4.6 影响	(101)

4.6.1	生活方面	(101)
4.6.2	学术方面	(102)
4.6.3	文学艺术方面	(103)
4.7	旁观语	(105)
第五章	禅宗史略.....	(110)
5.1.1	禅的泛义	(110)
5.1.2	早期禅法	(111)
5.1.3	北地禅法	(112)
5.2	立宗因缘	(114)
5.3	渊源传说	(121)
5.3.1	灵山一会	(122)
5.3.2	西天二十八祖	(124)
5.4	中土统系	(125)
5.4.1	初祖菩提达磨	(126)
5.4.2	楞伽宗	(128)
5.4.3	二祖慧可	(132)
5.4.4	三祖僧璨	(134)
5.4.5	四祖道信	(135)
5.4.6	五祖弘忍	(136)
5.4.7	旁出法嗣	(137)
5.5	南宗顿教	(141)
5.5.1	六祖慧能	(142)
5.5.2	六祖坛经	(148)
5.5.3	高足举要	(150)
5.5.4	下传弟子举要	(157)

5.6	立宗分派	(168)
5.6.1	沩仰宗	(170)
5.6.2	临济宗	(172)
5.6.3	曹洞宗	(174)
5.6.4	云门宗	(176)
5.6.5	法眼宗	(177)
5.6.6	杨歧派	(178)
5.6.7	黄龙派	(179)
5.7	后期情况	(180)
第六章	禅悟的所求.....	(183)
6.1	难言也	(183)
6.2.1	门外寻源	(188)
6.2.2	出世间	(191)
6.2.3	证实相	(193)
6.2.4	明自性	(195)
6.2.5	自由无碍	(198)
6.2.6	概观	(201)
6.3	向自然挑战	(209)
第七章	渐与顿.....	(211)
7.1	通往禅悟的路	(211)
7.2.1	渐修	(213)
7.2.2	达磨以前的渐修	(217)
7.2.3	楞伽宗的渐修	(219)
7.2.4	南宗与渐修	(223)
7.3.1	所谓顿	(227)

7.3.2	顿的底细	(234)
7.3.3	顿的果实	(236)
7.3.4	顿的得失	(240)
第八章	师徒之间.....	(243)
8.1	自了与度人	(243)
8.2	致知的老路	(246)
8.3	求顿悟的新路	(250)
8.3.1	授受的各种形式	(254)
8.3.2	宗风和家风	(261)
8.3.3	一些新程式	(263)
8.3.4	破执与传心	(267)
8.3.5	破和传的可能性	(271)
8.3.6	旦暮遇之	(277)
第九章	机锋公案.....	(280)
9.1.1	机锋和公案	(280)
9.1.2	设想的威力	(282)
9.1.3	旧的义解	(284)
9.1.4	可解的程度	(291)
9.2.1	机锋语的路数	(295)
9.2.2	有理和无理	(304)
9.3	多种动作的意义	(308)
9.4	效果的限度	(312)
第十章	禅悦和禅风.....	(314)
10.1	得道和望道	(314)
10.2	一种安乐	(315)

10.2.1 不改其乐	(319)
10.2.2 另一种面目	(321)
10.2.3 世事浮云	(323)
10.2.4 奇言异行	(324)
10.2.5 自由无碍	(326)
10.2.6 小机大用	(327)
10.2.7 禅境中往还	(329)
10.3 几句附加的话	(331)
第十一章 理想与实际.....	(334)
11.1 理想与实际有距离	(334)
11.1.1 禅与教	(335)
11.1.2 顿悟与惯熟	(337)
11.1.3 出世与家常	(339)
11.1.4 守身与随顺	(340)
11.1.5 新思与旧意	(342)
11.1.6 深度广度问题	(344)
11.2 补说	(345)
第十二章 可无的赘疣.....	(348)
12.1 应务本	(348)
12.2.1 生有异相	(350)
12.2.2 各种神通	(351)
12.2.3 超常的尊崇	(353)
12.2.4 预知死期	(355)
12.3 顺应世俗	(356)
12.3.1 近权贵	(357)

12.3.2	念故旧	(361)
12.3.3	重诗文	(363)
12.3.4	防微杜渐	(366)
第十三章	禅的影响(上)	(368)
13.1	关于影响	(368)
13.2	道学	(370)
13.2.1	李翱复性	(372)
13.2.2	程朱理学	(374)
13.2.3	陆王心学	(378)
13.2.4	语录体	(380)
13.3	诗学	(384)
13.3.1	司空图诗品	(386)
13.3.2	诗与禅	(389)
13.3.3	沧浪诗话	(391)
13.3.4	神韵说	(394)
第十四章	禅的影响(下)	(398)
14.1	立身处世	(398)
14.2.1	近禅与逃禅	(399)
14.2.2	正心修己	(402)
14.2.3	脱略世事	(405)
14.2.4	处逆如顺	(407)
14.2.5	山林气	(408)
14.3.1	禅意诗	(410)
14.3.2	禅意画	(415)
14.4	禅语	(416)

第十五章 余论.....	(421)
15.1 回顾既往	(421)
15.2 展望未来	(424)
《禅外说禅》 读后记..... 启 功	(427)

佛教与中国文学

新版小记.....	(432)
前言.....	(435)

第一章 汉译的佛典文学.....	(439)
一、译文创造了独特的风格.....	(440)
二、佛典译文的文学成就	(443)
(一) 说理	(443)
(二) 叙事	(445)
(三) 故事	(448)
(四) 韵文	(451)
第二章 佛教与中国正统文学.....	(454)
一、诗	(455)
(一) 诗的格律	(455)
(二) 诗的语言	(460)
(三) 诗的内容	(462)
附说“词”	(466)
二、文.....	(467)
(一) 文的题材	(468)
(二) 文的思想	(472)

三、诗文评	(478)
第三章 佛教与中国俗文学	(488)
一、佛教的俗文学创作——变文	(488)
二、其他俗文学作品所受佛教的影响	(494)
(一) 传布方式	(494)
(二) 体裁	(496)
1. 小说	(497)
2. 鼓子词	(499)
3. 诸宫调	(499)
4. 宝卷	(499)
5. 弹词	(500)
6. 鼓词	(500)
(三) 题材	(502)
1. 题材直接来自佛教的	(502)
2. 题材间接来自佛教的	(504)
(四) 思想	(507)
1. 无常苦空	(507)
2. 地狱轮回	(509)
3. 因果报应	(511)
4. 修持得福	(512)
5. 多种神通	(514)

禅 外 说 禅

第一章 弁言

1.1.1 缘起（一）

想起我与禅的关系，说来话长。最早大概是青少年时期，看《红楼梦》，第九十一回写黛玉和宝玉用禅语问答：

黛玉乘此机会，说道：“我便问你一句话，你如何回答？”宝玉盘着腿，合着手，闭着眼，撇着嘴道：“讲来。”黛玉道：“宝姐姐和你好，你怎么样？宝姐姐不和你好，你怎么样？宝姐姐前儿和你好，如今不和你好，你怎么样？今儿和你好，后来不和你好，你怎么样？你和他好，他偏不和你好，你怎么样？你不和他好，他偏要和你好，你怎么样？”宝玉呆了半晌，忽然大笑道：“任凭弱水三千，我只取一瓢饮。”黛玉道：“瓢之漂水，奈何？”宝玉道：“非瓢漂水，水自流，瓢自漂耳。”黛玉道：“水止珠沉，奈何？”宝玉道：“禅心已作沾泥絮，莫向春风舞鹁鸪。”黛玉道：“禅门第一戒是不打诳语。”宝玉道：“有如三宝。”

话扑朔迷离，像是句句有言外之意，觉得有意思。甚至觉得巧，因为化显为隐，使难说的变为可以说。

过了些年，兴趣早已离开编撰的故事而转到实在的人生。自己思索，疑难很多，于是求外援。希望能够“朝闻道”；未能如愿，只好多方寻求，看看所谓贤哲都是怎么想的。这包括古今中外。这里撇开外和今，专说中和古。就现存的文献说，儒家大概是最靠前的（《老子》时代有问题），道家大概是最深入的。顺路往下走，自然会碰到佛家。儒家讲“率性之谓道”，也讲修齐治平。道家讲“知其不可奈何而安之若命”，也讲“治大国如烹小鲜”。只有佛家，总是喊“生死事大”，虽然也不能不把在上者奉为大檀越。总之，与孔孟、老庄相比，释迦的思想言论似乎离个人更近。于是看，通过空、有，通过般若、法相，等等，想大致了解，对人生，他们是怎样看的，对其中较为突出的问题，他们是怎样对付的。五花八门，但也万变不离其宗，是以“悟”力脱“苦”境。悟，何以能得？于是就不能不碰到“禅”。这之后，就扔开俱舍、法华等等而读《古尊宿语录》《五灯会元》一类书。一读才知道，这些所谓禅师比黛玉和宝玉厉害得多，因为二玉的话虽然迷离，却沾边，禅师的话是不沾边，甚至像是梦中说呓语。举一点点为例：

(1) 黄檗希运禅师——（丞相裴公）问：“圣人无心即是佛，凡夫无心莫沉空寂否？”师云：“法无凡圣，亦无空寂。法本不有，莫作无见；法本不无，莫作有见。有之与无，尽是情见，犹如幻翳。所以云：‘见闻如幻翳，’